

第 10 回九州ガールズフェスティバル 宮崎大会

**新型コロナウィルス感染症
感染拡大防止について**

2020 年12月13日(日)

九州ラグビーフットボール協会 女子委員会

新型コロナウィルス感染拡大防止について

■ 参加者は 1 チーム 10~20 名とし、それ以上の人数の場合はもう 1 チーム作る、スタッフは協会登録チームスタッフ 3 名(監督、コーチ、その他 1 名)、給水員として 3 名(大人は原則不可、どうして不足している場合は本部に申し出てください。 今回はチーム事前健康チェックシートに記載された者のみと人数を最小化する。上記以外の者はチームとの帯同を認めない)。

【グラウンドレベルへの入場を認める者】

- (1)九州ラグビーフットボール協会、宮崎県ラグビーフットボール協会及び日向市ラグビーフットボール協会、審判員などの役員及び補助員、来賓など。
- (2)参加チームの出場登録選手 10~20 名、協会登録チームスタッフ 3 名(監督、コーチ、その他 1 名)、給水員として 3 名(チーム事前健康チェックシートに記載された者)。
- (3)九州ラグビーフットボール協会から入場を許可された者(医師・看護師・報道関係者等)

【一般的な注意事項】

- 全ての関係者が会場に入場する際の必須条件として、以下の項目を含む書面での確認を提出する。
- チーム参加者全員の 12/6(日)~12/12(土)の「検温・健康チェックシート」を代表者会議時に提出すること。
- 試合当日は、チーム参加者全員の「個人健康チェックシート」を代表者が受付時に提出すること。
- グラウンドレベルへの入場を許されている者は「個人健康チェックシート」を本部に提出すること。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出された書面については大会事務局において 1 か月以上保存しておく。また、大会事務局は関係者全員の連絡先を管理する。
- 全ての関係者は、11/29(日)から試合当日までの行動履歴を記録しておくこと。

【大会参加者への事前対応】

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、交流会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。 各チームにて参加者への周知徹底をお願いします。

- (1) 現在、以下に記載の項目を含め、新型コロナウィルス感染症の兆候が一切見られないこと。
 - ① 新型コロナウィルス感染症に関するいかなる症状も直前の 14 日以内に見られること。
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる・疲れやすい等
 - ② 生活を共にする家族等にも新型コロナウィルス感染症に関するいかなる症状も直前の 14 日以内に見られること。
 - ③ 新型コロナウィルス感染者や感染が疑われる人に直前の 14 日間に接触していないこと。
 - ④ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触していないこと。
- (2) マスクを持参すること(競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する)
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (4) 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ 2m 以上)を確保すること。
- (5) 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- (6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (7) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に 対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (8) 更衣室の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。
- (9) 移動についての注意事項。
 - 公共交通機関での移動を避けられるチームは、可能の場合は個人による移動を検討する。
 - できるだけ車の相乗りは避けるようにする。
 - 公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
 - チャーターバスを利用する場合は、運行会社と協力し、事前・事後に徹底的にバスを清掃・消毒するよう に手配し、余裕を持った座席数の確保や換気の徹底等の予防策を講じること。

新型コロナウィルス感染拡大防止について

【交流会参加申し込みについて】

- (1)チーム責任者は必ず、選手及び保護者から交流会参加の同意書を取り、参加申し込みを行う。
同意書は各チームで保管すること。
- (2)大会参加を強要しないよう配慮すること。
- (3)代表者は参加者全員の連絡先を保有していること。

【選手または関係指導者の感染が判明した場合の考え方】

(1)大会前

- ①選手または関係指導者の感染が判明した場合には、当該選手また濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。
※但し、濃厚接触者と特定され、積極的疫学調査によってPCR検査陰性の場合も、2週間の経過観察を経たのち、医師の判断を仰ぎ、所属校長・事務局の許可を得ることができれば参加を認める。
- ②参加申し込み後においての選手変更は認める。

(2)大会当日

- ①発熱等の症状がみられる場合、交流会出場を認めない。
- ②当日、急に症状が出た場合は、保護者に連絡をとり帰宅させる。
- ③他の選手への健康観察を徹底する。

(3)大会後

その後、新型コロナウィルスに感染したことが確認された場合は行政機関の指示に従うこと。
その結果についてはチーム責任者から事務局に報告すること。

【交流会当日の留意事項】

- 試合当日は、チーム参加者全員の「個人健康チェックシート」(提出用)を代表者が受付時に提出すること。
保護者の捺印のあるもの以外は無効となり、会場への入場、大会参加は認められません。
- 会場への入場前に検温とアルコール消毒を必ず行う。
- 常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m)を保つこと。
- 会場内は必ずマスクを着用し、大きな声での会話や応援等をしない。
- ベンチで待機するリザーブ選手・チームスタッフ及びテクニカルゾーンやピッチャサイドで待機するチームメディカルスタッフ(合計3名)・給水係は引き続きマスクを着用する。但し、ウォームアップ時や交替直後の選手など、健康状態の維持に支障が出る場合を除く。
- 感染を防止するため、メディカルスタッフ及び給水係は防水性がある手袋を着用する。
- 会場出入り口・本部・各選手席(ベンチ)にアルコール消毒液を設置するのでこまめな手指消毒を心掛ける。
- ウォーターボトル・タオル・ヘッドキヤップ等の個人の備品は必ず区別し、栄養補給サプリメント等も含め共用・使いまわしをしない。タオルやアイシング用の氷も共用はしない。
- フィジカルディスタンスを確保できない円陣等は避ける。握手・ハイタッチ・抱き合う等の行為は禁止とする。
- ロッカールームはグランド近くのサンドーム内にありますが、更衣室としての使用はサンドーム2階会議室を用意していますので、そちらを利用の事。また3密を避けるため2部屋を4県で順番に時間を決めて使用とする。シャワーはロッカーにコインシャワーが有りますのでそちらを使用の事。但しこちらも3密を避けるために一度に使用する人数を制限。シャワーワードは個人負担とする。
- 選手の待機場所は会場内の指定されている場所とする。
- ウォーミングアップは会場内のインゴールで行うこと。
- 試合当日の昼食は、密にならないよう待機場所等でとる。
- 試合は3ボール制で行い、1試合ごとにボールを0.05%次亜塩素酸ナトリウムあるいは70%以上のアルコール消毒液を用いて消毒を行う。

チェックリスト

会場での感染防止のために遵守すること

【チーム用】

※チーム責任者は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

新型コロナウィルス感染拡大防止について

(1) 来場中に注意すること

- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 他の参加者、スタッフ等との距離を確保すること
- 更衣室の使用は原則更衣のみとし、長時間使用することができないようにすること
- 会場内で大きな会話、応援等をしない
- ゴミは各自で持ち帰ること

(2) 試合中に注意すること

- ベンチでは距離をとり座ること
- 応援場所については、会場責任者の指示に従うこと
- 応援の際はマスクを着用し、周囲と適切な距離を空けて応援を行うこと
- ベンチ、応援席からの大きな声での指示や応援は慎むこと
- 水筒や飲料用ボトルの共有は行わないこと
- ボール拭きなどのタオルの共有は行わないこと
- ハイタッチ、握手、肩組みなどの接触は行わないこと

(3) 試合終了後に注意すること

- ベンチは使用したチームが消毒を行うこと
- 手洗い、うがい、洗顔等を行い感染防止に努めること
- 更衣後、使用した更衣室は、消毒、換気を行い速やかに退場すること
- ロッカールーム内でのミーティングを行わない。
- ロッカールーム内での食事は行わない。

(4) その他

- 試合前後のミーティング等においても3密を避けること
- 試合前のウォーミングアップ、試合中以外は待機場所にて待機すること

チェックリスト

会場での感染防止のために遵守すること

【参加者用】

※大会参加者は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

(1) 来場前の健康チェック

- 発熱の有無(発熱とは37度5分以上の熱)
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)」の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウィルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウィルス感染症の「個人健康チェックシート」(提出用)を必ず提出すること。
保護者の捺印のあるもの以外は無効となり、会場への入場、大会参加は認められません。

(2) 会場で感染防止のために遵守すること

① 来場中に注意すること

- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用すること

新型コロナウィルス感染拡大防止について

- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 他の参加者、スタッフ等との距離を確保すること
- 更衣室の使用は原則更衣のみとし、長時間使用することができないようにすること
- 会場内で大きな会話、応援等をしない
- ゴミは各自で持ち帰ること

②試合中に注意すること

- ベンチでは距離をとり座ること
- 応援場所については、会場責任者の指示に従うこと
- 応援の際はマスクを着用し、周囲と適切な距離を空けて応援を行うこと
- ベンチ、応援席からの大きな声での指示や応援は慎むこと
- 水筒や飲料用ボトル、ボール拭きなどのタオルの共有は行わないこと
- ハイタッチ、握手、肩組みなどの接触は行わないこと

③試合終了後に注意すること

- ベンチは使用したチームが消毒を行うこと
 - 更衣後、使用した更衣室は、消毒、換気を行い速やかに退場すること
 - ロッカールーム内でのミーティングを行わない。
 - ロッカールーム内の食事は行わない。
- ※大会終了後、2週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して主催者に対して速やかに報告すること。

④その他

- 更衣室の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。
- 移動についての注意事項。
 - 公共交通機関での移動を避けられるチームは、可能な場合は個人による移動を検討する。
 - できるだけ車の相乗りは避けるようにする。
 - 公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
 - チャーターバス等で同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。

チェックリスト

会場での感染防止のために遵守すること

【大会役員、補助員等会場への入場が認められた人用】

※会場への入場が認められた人は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

(1)来場前の健康チェック

以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること(当日に確認を行う)

- 発熱の有無(発熱とは37度5分以上の熱)
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウィルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウィルス感染症の「個人健康チェックシート」(提出用)を必ず提出すること。

補助員等で未成年者の場合、保護者の捺印のあるもの以外は無効となり、会場への入場は認められません。

新型コロナウィルス感染拡大防止について

(2)会場で感染防止のために遵守すること

①来場中に注意すること

- 検温を受けてから手指のアルコール消毒を行い入場すること
- 会場ではマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 選手、チームスタッフ、運営スタッフ等との距離を確保すること
- 自身のタオル、ドリンク等を他者と区別できるようにしておく。
- 無線機の共有はしない。やむを得ず使用する場合は十分な消毒をする。

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

(3)その他

- 滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。
- 移動についての注意事項。
 - 公共交通機関での移動を避け、個人による移動を検討する。
 - できるだけ車の相乗りは避けるようとする。
 - 公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
 - 同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。

新型コロナウィルス感染拡大防止について

その他の事項での感染防止のために遵守すること

【代表者会議】

- ・資料等は事前にメール配信により配布いたします。

【グランドレベルへの立ち入りについて】

- ・選手保護者、応援者、観戦者、チームカメラマンの方のグランドレベル(競技エリア)への立ち入りは一切禁止致します。
- ・グランドレベルへの立ち入りを許される方は九州ラグビーフットボール協会の承認を得た、大会役員、補助員、審判員、参加チームの10~20名の登録選手、協会へ登録されたチームスタッフ3名(監督、コーチ、その他1名)、九州ラグビーフットボール協会から入場を許可された医師・看護師・報道関係者に限ります。

【メディカルスタッフの服装、装備について】

- ・試合に立ち会うドクター、担架要員、メディカルスタッフは濃厚接触者となることを避けるため、マスク、防水性手袋、ゴーグル(又はフェイスシールド)の着用装着を義務づけるものといたします。また、担架使用で体位変換を行う場合や医務室での治療時はガウンの着用を推奨いたします。

【宿泊を伴う場合での注意】

- ・ホテルの部屋やミーティング時の複数人が同じ空間にいる状況では特に注意し、換気及びマスク着用などの対策を遵守すること。

【密になるエリアの対応】

- ・試合結果ボード周辺は密になるため、試合結果ボード掲載は行いません。
- ・試合結果についてはチームへのメール配信又はSNS等で確認できる様に対応を行います。
- ・大会当日、場合によっては会場内や待機場で密になる可能性がある場合は大会実行委員会が判断する密集対策を当日でも変更し、参加者の皆さんの安全を優先し変更にご協力を頂く場合があります。

【感染症対策ポスターの掲示】

- ・感染症対策のポスター等を掲示し選手はもちろん、指導者、保護者の方々への注意喚起を行っていきます。

【女子委員会 新型コロナウィルス感染症拡大防止委員会・担当者・緊急連絡体制】

- ・新型コロナウィルス感染症拡大防止対策委員会委員長：平野勉
- ・新型コロナウィルス感染症拡大防止対策担当：椎葉慎一郎
- ・メンバー：岡本熊本県委員長、川津大分県委員長、迫田鹿児島県委員長
- ・女子委員会新型コロナウィルス感染症拡大防止担当 Dr.：()
　　当日来て下さるグランドドクターに依頼

以上